



嶋瀬 拓也 Shimase Takuya  
北海道支所

輸入広葉樹材の入手難や価格高騰を受けて、国産広葉樹材に再び注目が集まっています。しかし、かつて家具や内装の材料として欧米に輸出され、現地で好評を博した良質な国産広葉樹材は、いまはめったに手に入りません。こうした中、いま手に入る材を大切に使うという考えが取り組みが活発化しています。

そうした取り組みのひとつとして挙げられるのが、シラカバやハンノキなど、これまで家具や内装に使われることがほとんどなかった樹種を積極的に使っていくという動きです。ナラのように家具や内装として定番の樹種でも、小幅の板しか取れず、節や源平<sup>▼</sup>が現れがちなため敬遠されてきた細い丸太まで使おうとする動きがみられます。これらの取り組みが活発化している背景には、消費者の意識変化があります。というのも、かつては高級家具の表面に節や源平があることはまず許されませんでした、

## シラカバが家具に!? 国産広葉樹材を使いこなす取り組み

いまでは節も源平も自然素材だからこそ現れるものという考え方が広まり、これらの取り組みを後押ししているのです。

このような消費者の意識変化を追い風に、シラカバが持つイメージの良さを活かしつつ、その特徴的な樹皮をデザインに取り入れた家具や内装も生まれており、国産広葉樹材に活躍の場が広がっていることを感じさせます。

2022年6月8日 公開講座に加盟



①家具や内装にシラカバを多用した北海道東川町のドミトリイ ②樹皮のほか、節などの欠点もデザインとして活かしたシラカバ家具 (写真提供:白樺プロジェクト)

▶ 註 源平(げんぺい): 材色が濃い部分(心材)と薄い部分(辺材)が同じ材面に混在していること。

### 令和5年度 森林講座のお知らせ

多摩森林科学園での実開催とオンラインでの開催を予定しています。  
オンライン開催は遠方の方でもご参加いただけますのでお楽しみに!

会場●多摩森林科学園 森の科学館  
時間●13時15分～15時



#### 開催

8月4日(金曜日)  
「樹木はガマン強いんです」  
～樹木と風の関係～  
鈴木 覚(森林災害・被害研究拠点)

10月13日(金曜日)  
「お宝の山!  
今こそ国産広葉樹の出番です」  
山下 直子(関西支所)

11月10日(金曜日)  
「『ナラ枯れ』とは?  
ドングリの木が枯れていく仕組み」  
衣浦 晴生(森林昆虫研究領域)

12月8日(金曜日)  
「海辺の森林、マングローブ」  
小野 賢二(立地環境研究領域)



#### オンライン開催

7月7日(金曜日)  
「樹木の精鋭!?「エリートツリー」について」  
栗田 学(林木育種センター)

9月14日(木曜日)  
「小型木質バイオマス発電の特徴とは?」  
小井土 賢二(木材加工・特性研究領域)

1月18日(木曜日)  
「ビッグデータで調べる国立公園の  
人気スポット」  
小黒 芳生(森林植生研究領域)

お申込の受付は各講座開催日の前月の1日から。受付は先着順で、講座開催日の1週間前が締切となります。ご希望の講座名・郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加希望者数をご記入の上、往復はがき、または電子メールでお申し込みください。お申込1通に対し、1講座3名までの受付とさせていただきます。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、講座を中止する場合があります。最新情報はホームページをご確認ください。

◆お問い合わせ  
〒193-0843 東京都八王子市廿里町1833-81  
多摩森林科学園  
電話番号:042-661-1121



▲森林講座申込み

HP : <https://www.ffpri.affrc.go.jp/tmk/index.html>

E-mail : [shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp](mailto:shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp)